



北海道国立大学機構
Hokkaido Higher Education and Research System



小樽商科大学 帯広畜産大学 北見工業大学



報道機関各位

令和8年3月4日
国立大学法人北海道国立大学機構

オープンイノベーションセミナー

「北海道における持続可能な物流に向けたイノベーションを探索する」を開催

国立大学法人北海道国立大学機構オープンイノベーションセンターは、北海道における持続可能な物流に向けたイノベーションの探索をテーマとするセミナーを開催いたします。

ぜひ、ご取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 目的:

物流は、地域の生活、経済活動を支える必要不可欠な社会インフラであり、特に広域分散型社会を形成する北海道において、その存在意義は極めて大きいものである一方、担い手不足の深刻化やトラックドライバーの時間外労働の上限規制等の適用、脱炭素化の要請や災害時輸送への対応が求められ、未来に向けたイノベーションが期待されている。本セミナーでは、産学官のオープンイノベーションによる持続可能な物流の実現に向けて、その現在地と今後の展望を議論する。

2. 日程: 令和8年3月16日(月) 14:30~17:30(開場 14:00)

3. プログラム: 別紙のとおり

4. 会場: エア・ウォーターの森 1階ホール
(札幌市中央区北8条西13丁目28-21)

5. 主催等: 主催 国立大学法人北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター
共催 小樽商科大学
後援 北見工業大学
北海道物流開発株式会社
エア・ウォーター物流株式会社
エア・ウォーター北海道株式会社

取材を希望される場合は、申込フォーム <https://forms.gle/wMYXwbAhdyVTB3jG6> からお申し込みの上、コメントまたはご質問欄に「取材希望」のご入力をお願いいたします。

【本件担当】

北海道国立大学機構経営企画課大学連携室研究推進係
〒047-8501 小樽市緑3丁目5-21 小樽商科大学内
Email: ace.jimu@office.otaru-uc.ac.jp



小樽商科大学



帯広畜産大学



北見工業大学



ACE

令和7年度

OPEN INNOVATION SEMINAR

オープンイノベーション

セミナー

3.16

14:30

17:25

[開場 14:00]

北海道における 持続可能な物流に向けたイノベーションを探索する

物流は地域の生活、経済活動を支える必要不可欠な社会インフラであり、特に広域分散型社会を形成する北海道において、その存在意義は極めて大きい。一方、担い手不足の深刻化やトラックドライバーの時間外労働の上限規制等の適用、脱炭素化の要請や災害時輸送への対応が求められ、未来に向けたイノベーションが期待される。本セミナーでは、産学官のオープンイノベーションによる持続可能な物流の実現に向けて、その現在地と今後の展望を議論する。

基調講演

14:35-15:45

北海道を物流先駆的な地域へ

北海道物流開発株式会社 代表取締役 齊藤 博之 氏

定員60名

参加費 | 無料

実施方法: 対面のみ

【参加申込締切】

3月13日(金)12:00

※定員に達し次第、締め切ります。

パネルディスカッション

15:55-17:05

産学官による北海道の物流の 持続・発展に向けて

Google MAP



エア・ウォーターの森

札幌市中央区北8条西13丁目28-21

FOREST HALL

詳細・申込は
裏面へ

主催



国立大学法人北海道国立大学機構
オープンイノベーションセンター

共催
後援

小樽商科大学
北見工業大学、北海道物流開発株式会社、
エア・ウォーター物流株式会社、
エア・ウォーター北海道株式会社

令和7年度 オープンイノベーションセミナー

北海道における持続可能な物流に向けたイノベーションを探索する

PROGRAM

1

14:30-14:35

主催者挨拶

国立大学法人北海道国立大学機構

オープンイノベーションセンター 副センター長

玉井 健一

2

14:35-15:45

基調講演

北海道を物流先駆的な地域へ

北海道物流開発株式会社 代表取締役 齊藤 博之 氏

15:45-15:55

休憩

3

15:55-17:05

パネルディスカッション

産学官による北海道の物流の持続・発展に向けて

パネリスト

北海道物流開発株式会社 代表取締役

齊藤 博之 氏

1969年登別市生まれ。自動車整備士、自動車販売の営業を経て24歳でトラックドライバーに。道外メーカーの商品を道内各地の卸業者に納品する2次物流を担当する中、同じ卸業者に届けるアイスクリームがメーカーごとに物流拠点へ運ばれてくることで、温度管理ができず品質劣化を招いていることに着目。1998年、29歳で北海道物流開発株式会社を起業、アイスクリームの「鮮度」を保つ共同配送のしくみをつくる。「ずっと住み続けられる北海道」をめざし、人づくり、物流面から貢献すべくボーダーレスに活動中。札幌商工会議所青年部発足に尽力し、2016年初代会長に就任。また物流関係者が集う「北海道物流人倶楽部」を創設。2019年には明治大学BCP・SCM研究所客員研究員に就任。他、2025年札幌商工会議所DX推進・生産性向上委員会委員長就任など。



エア・ウォーター物流株式会社 執行役員 アグリ物流本部長 長谷場 信悟 氏

1975年6月仙台生まれ。1999年エア・ウォーター物流株式会社入社。本社運輸事業部や石狩流通センターなど、北海道における物流現場・拠点運営に長く携わる。現場起点の改善とマネジメントを通じ、安定供給と効率化の両立を推進。2023年4月から2年間、北海道エア・ウォーター・アグリ株式会社に出向し、「北海道の恵みを、全国の食卓へ」をテーマに野菜をはじめとする青果物の、鮮度と安全を確立した全国配送の拡大に取り組む。現在は、アグリ物流本部長として、農業関連物流を中心に、北海道の持続可能な物流の実現に向けた取り組みと新たな可能性の探索に取り組んでいる。
(主な資格) 物流技術管理士、運行管理者、危険物取扱者乙種3類。



国立大学法人北海道国立大学機構 北見工業大学 工学部社会環境系

教授 高橋 清

1962年8月北海道当別町生まれ。北海道大学工学部博士後期課程修了 工学博士。専門は交通計画、交通政策。1996年から2001年に東京大学助教授、タイ国アジア工科大学院助教授として、アジア国内の物流に関する研究に従事。2001年に北見工業大学に着任。国土審議会北海道開発分科会専門委員として、第9期北海道総合開発計画の策定に関与し、生産空間維持における物流の重要性を指摘。物流研究においては、地域との連携を重視し、共同輸送・中継輸送実装研究会の委員・アドバイザー等を務める。2022年からは北見工業大学地域と歩む防災研究センター(SAFER)のセンター長を兼任。



4

17:05-17:25

オープンイノベーションセンターの取り組みのご紹介

国立大学法人北海道国立大学機構 オープンイノベーションセンタービジネス開発部門長 北川 泰治郎

申し込み・問い合わせ先



国立大学法人北海道国立大学機構 経営企画課大学連携室研究推進係

E-Mail ace_jimu@office.otaru-uc.ac.jp URL www.nuc-hokkaido.ac.jp

お申し込み方法

参加を希望される方は、申込フォーム(二次元コード)から事前にお申し込みください。

